

最優秀賞 受賞チーム

立教大学 経済学部 關 智一ゼミ As9

私たちは、日本の若年層の献血不足という問題に着目し、将来の安定的な献血者数の確保を目指して大学生を対象にした献血促進プランを作成しました。プランを詰めていく約半年間でグループワークにおける円滑なコミュニケーションの取り方やタイムマネジメント、発表スキルなど今後のゼミナール活動だけでなく社会人となった時でも活かせる力を身につけることができました。大会後には全員が自らの成長を感じられた貴重な経験となりました。

立教大学 経済学部 教授 關 智一 先生

私のゼミ生は3年間のゼミ活動において様々な学外大会を経験します。なかでもインナー大会は、ゼミ生にとって最も人気のある大会です。結果の如何を問わず、インナー大会を通じてゼミ生は、チームワークがもたらす相乗効果の大きさとともに、その過程で収めざるを得なかった自らの主張や意見を、むしろ強烈に意識するようです。私はゼミ生がインナー大会から得られる最大の恩恵とは、こうした自らの研究関心への「気付き」であると考えます。インナー大会を経たゼミ生の成長ぶりから、私はそのことを毎年、再確認させてもらっています。



質問：ゼミ活動と個人の活動を両立するために意識していたこと

回答：ゼミ活動と個人の活動は、計画性とメリハリを意識していました。そこを意識することで、長期休暇期間も活動がある日はほとんど毎回全員が参加でき、活動がない日はそれぞれ旅行や帰省、バイト、サークルなど自分達のやりたいことをしっかりと満喫できていました。休みの日を作るからこそ効率化していたと思うので、メリハリが特に大事だと感じました。

優秀賞 受賞チーム

創価大学 経済学部 西浦 昭雄ゼミ Team燦



私たちは「精神的に健康で在宅介護できる社会を築きたい」との思いから、本研究を開始しました。本研究は、介護者や、企業、政府など多くの方々からご協力を頂くことで進めることができました。チーム内での意見の相違や介護者の

ニーズ分析の困難さから順調に進まない時期もありましたが、「ご協力頂いた全ての方々の為に」との思いで、チーム全員が力を出し切り、最後までやり遂げることができました。このような貴重な学びの機会を頂けたことに心から感謝をしております。ぜひ後輩の皆様には20年度の大会に挑戦して頂きたいと思います。

質問：プレゼンを行う上で最も気をつけたこと

回答：スライドと審査員の方々と繋ぐ役割であるという意識を持つことです。1枚1枚のスライドで何を伝えたいのか、審査員の方々にどのように感じて欲しいのかを考え、話す抑揚やジェスチャーを工夫しました。

審査員特別賞 受賞チーム

日本大学 商学部 高井 透ゼミ 高井ゼミCチーム



廃棄されてしまう花(ロスフラワー)に新たな価値を与え、ビジネスチャンスを見出すことを目的に活動を行いました。研究の課程では、フィールドワークを積極的に行い、花に携わる方の考えやニーズを調査しました。そして納得するまで仮説と検証のプロセスを繰り返し、実現可能性、有効性の高いビジネスモデルを目指しました。初めての体験で戸惑うことも多くありましたが、それ以上に足を運ばなければならなかったこと、知らなかったことが多く、貴重な経験することが出来たと思います。ご協力頂いた全ての方に感謝致します。

質問：チームでの決まりごとやルールはありましたか？

回答：4人チームだったのですが、一人一人に役職を決めました。リーダー、SNS担当、花屋さんへのアポ担当、花の管理担当といった感じです。これによって一人一人が責任感を持ちながら活動できたと思います。

前年度プレゼン局長からの一言

第59回インナー大会実行委員会 プレゼン局長 松田 三奈



第59回インナー大会では昨年度に続き、多くの学生の皆さまにご参加いただきました。参加者の皆さまには他大学・他学部の研究成果を聴講すること、また自分たちへの研究に対する審査員の方々のご意見など、本大会を通して得られるものは数多くあったのではないのでしょうか。研究テーマを設定し、実地調査を行い、結果を基に分析を行うという一連のプロセスの中で様々な苦労や困難があったと拝察いたします。そのような準備段階での数々のドラマが、必ず生きたプレゼンを作り出していると思います。大会当日には、自分達の発表が終了しても他チームの研究を今後の研究活動に活かそうと、最後まで向上心を持ち続け、熱心に見学する皆さまの姿が多く見受けられました。参加して下さった全ての方々において、本大会までに要した時間、そして本番での学びの時間は必ず今後の活動に貢献するものと思います。インナー大会で得た経験を後輩の方々へ語り継いで頂くとともに、ご自身の発展にも繋げていただければ幸いです。

お申し込み方法

- 1 下記インナー大会HPから「プレゼン部門専用申込書」をダウンロード
- 2 参加希望者全員の情報を入力の上、指定のお申し込みフォームよりお申し込みください

お問い合わせ先

インナー大会HP <https://www.inner-kanto.com/>

第60回インナー大会実行委員会 プレゼンテーション部門(文京学院大学)

TEL 080-7967-8608 E-mail inner2020.kanto.presen@gmail.com

関東最大の
学術発表会

第60回 インナー大会 プレゼンテーション部門

会場 / 文京学院大学本郷キャンパス



参加受付期間

4/20 MON. ▶ 7/27 MON.



お申し込みは大会HPから今すぐ！

TEL 080-7967-8608 (プレゼン部門専用)

HP <https://www.inner-kanto.com/>

主催：日本学生経済ゼミナール関東部会(幹事校：文京学院大学)
協力：日経ビジネス

先着

150
チーム

インナー大会とは

インナー大会は、他大学との交流を深める目的で1960年に設立され、「討論部門」と「プレゼンテーション部門」（以下「プレゼン部門」）の2部門で構成されています。現在は1,000人超の学生が参加する、関東最大級規模の学術発表会として活動が続けています。

プレゼン部門とは

「プレゼン部門」とは日本学生経済ゼミナール関東部会主催、日経ビジネス協力によるプレゼンテーション形式の研究発表会です。この部門はインナー大会実行委員と日経ビジネス（日経BP及び日経BPマーケティング）が合意・協力して、2004年から立ち上げ、2020年度で第17回目となります。

討論部門

討論部門の様様



同じ分野の研究をしている、他大学ゼミとの討論によって深い交流ができます！

討論部門における「討論」では、ゼミ対抗といった優劣を競うものではなく、様々な立場から自由に討論することで、社会問題とその解決方法の模索や新しいビジネスプランの創出を考えることを目的とし、今後の就職活動などに役立てることが出来ます。

- 参加にあたり、チームごとにテーマ趣意文の作成・提出が必要となります。
- 6月27日(土)のテーマ設定会議にて、討論相手の組み合わせを行います。

🗣️ 昨大会参加者の声

「いろいろな視野の考え方を知ることができた」
 「他大学の学生の意見は新鮮なものであり、貴重な経験になった」
 「違った意見をもった方と意見の交換・共有ができて充実しました」
 「本番までの準備や論文作成など、今後のために役立った」

※討論部門の参加には「日経ビジネス」購読の必要はありません。

今年度新企画計画中心！

大会スケジュールや企画内容については、インナー大会HPに随時更新していきます。

[討論部門問合せ先]
 ☎TEL 080-4400-9187
 ✉E-mail inner2020.kanto.touron@gmail.com

プレゼン部門

2019年プレゼン部門の様様



「日経ビジネス」編集長(予定)をはじめ、第一線で活躍されているビジネスパーソンや大学教員の方々があなたのプレゼンを審査します！

日頃の研究活動の成果・アウトプットの場としてインナー大会プレゼン部門に参加しよう。

- 参加にあたり「日経ビジネス」電子版の半年、または電子版+雑誌セット半年の購読申し込みが必要となります。※詳しくは右ページをご覧ください。
- 6月7日(日)に、大会説明会を行います。大会に関するご質問も受け付けますので、皆さま奮ってご参加ください。

🗣️ 昨大会参加者の声

最終ページにて紹介しています。ぜひご覧ください。



プレゼン部門の特長

✅ 社会人による審査&フィードバック！

学生だけの大会では協力を得ることが難しい、ビジネスパーソンや大学教員が審査員を務めます。本選へと進んだチームは、「日経ビジネス」編集長(予定)をはじめとした社会経験豊富な審査員より、その場で審査・質疑応答を受け、講評が受けられます。また、審査員からの講評を全参加チームに対してフィードバックいたします。

✅ 大会結果を「日経ビジネス」本誌とWebサイトに掲載！

上位入賞チームの個人名、写真などが「日経ビジネス」の誌面上に掲載されます。また、28年間連続で国内最多の読者数を誇る「日経ビジネス」が、新たなデジタルメディア「日経ビジネス電子版」を創刊。皆さんの大学・チーム名、研究内容は特設サイトに掲載されます。(予定)

✅ 情報活用力が身に付く！物事を多角的に考える力が身に付く！

ゼミの仲間やチームの仲間と共に、1つの目標に向かって取り組むことの大切さや難しさがあなたの成長を促します。また学内発表では味わえない、普段触れることのない他大学の研究発表を聴講することで、自身の視野を広げることができます。



※掲載はいずれも予定です。

プレゼン部門に参加して チームワーク・情報活用力を身につけよう！

参加費用

※参加者(大学生)1名あたりの費用

インナー大会エントリー費+日経ビジネスの購読料をお支払いいただきます。

プレゼン部門に参加する全員が「日経ビジネス」電子版の半年、または電子版+雑誌セット半年購読をしていただくことが必須条件となります。

日経ビジネス電子版

日経ビジネス・電子版 半年購読を選択した場合

10,500円 (参加費1,500円+購読料9,000円)

日経ビジネス・電子版+雑誌セット 半年購読を選択した場合

12,600円 (参加費1,500円+購読料11,100円)

振込期限までに必ず参加費用をお支払いください。お支払いいただく参加費の一部は、大会の運営、通信費などに使わせていただきます。

「日経ビジネス」が役立つ3つのポイント

1. 日々の講義、ゼミ、論文・レポートに役立つ！

流通、金融、IT、サービス、メーカーなど、あらゆる業界・業種の「ビジネスの今」がわかる「日経ビジネス」。誌面には、ゼミや講義で学ぶ理論の裏付けとなる情報や、論文・プレゼンのテーマ設定をする際のヒントが満載です。インナー大会のプレゼンテーマ設定時や情報収集ツールとして日経ビジネスを是非ご活用ください。

2. 就職活動の業界・企業研究に役立つ！

就職本やインターネットでは掴めない、企業の実像や社会の動きがわかります。多くの企業人事担当者も読んでいる「日経ビジネス」を早めに購読することで、確かな情報力が身に付きます。

3. 社会に出てから仕事に役立つ！

「日経ビジネス」の購読者数は28年連続で主要ビジネス誌の中でNo.1*。多くのビジネスパーソンが購読している信頼度の高い情報誌です。学生時代から積み重ねた知識や経験は、社会に出てからも役立ちます。

※2018年度日本ABC協会認証部数173,970部(ビジネス分野1位)



2020年大会概要



会場: 文京学院大学 本郷キャンパス

予選

2020年10月11日(日)

本選

2020年11月15日(日)

「インナー大会・プレゼン部門」スケジュール(予定)

4月	20日(月)	参加受付開始
6月	7日(日)	インナー大会説明会(プレゼン部門・討論部門)
7月	27日(月)	参加受付締切 参加希望チームが150チームに達した時点で受付を締め切ります。(予定)
9月	28日(月) 30日(水)	予選 企画シート&パワーポイント 提出期間 プレゼン内容の概要を参加要項記載の提出方法に沿って 実行委員へ提出してください。 企画シートは https://www.inner-kanto.com/ よりダウンロードしてください。
10月	11日(日)	予選会 ※各ブロックの上位1チームが本選へ
11月	2日(月) 4日(水) 15日(日)	本選 企画シート&パワーポイント 提出期間 本選

※上記スケジュールは変更になる場合があります。

実行委員長からのメッセージ

大会コンセプト
「アップデート」



第60回 インナー大会実行委員会 委員長 二見 悠斗

皆さま、初めまして。大会実行委員長を務めます、文京学院大学経営学部3年の二見悠斗と申します。

インナー大会は今年度で記念すべき60回目を迎えることとなりました。これまで長く開催を続けることができましたのも、ご参加下さった先輩方やお力添え頂きました皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

大会全体のコンセプトは、「アップデート(更新する)」です。今までにない新しいジャンルやトピックに疑問や興味を持ち、研究を重ね、審査員の方々からのアドバイスやご意見をいただくことで自身の知識やスキルを更新し続けていって欲しい。また、大会自体も回数を重ねることにさらに良い活発な大会になるよう更新し続けていきたいと考え、私たちはこのような大会コンセプトを掲げました。

今年度は参加してくださる皆さまへの情報発信もアップデートいたします。SNSを活用し、大会情報をはじめ研究活動に役立つ情報を更新してまいります。実行委員会一同、皆様に満足いただけるよう一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

SNSでも
情報発信中

FOLLOW US!!

ぜひフォローして拡散してください!



友達追加は
こちらから



@inner_kanto2020



@inner_kanto

大会ルール詳細

以下は4月時点における予定です。変更となる場合がありますので予めご了承ください。

先着150チームまで
参加を受け付けます。



参加チームが150チームに達した時点で受付を締め切ります。予選を勝ち抜いたチームが、11月15日(日)の本選出場となります。

予選会について



発表:10分▶質疑応答:8分▶入替:2分

参加チームを12ブロックに分け、上位1チーム(計12チーム)が本選へ。教員や企業の方を審査員としてお招きし、審査を行います。

本選について



発表:15分▶質疑応答:10分▶入替:5分

「日経ビジネス」編集長(予定)をはじめ社会経験豊富な審査員をお招きして、講評をいただくことが出来ます。

優秀なチームには表彰が行われ、副賞も贈呈されます。

審査基準(各会共通)

① 着眼点

- 研究テーマに対する現状分析が適切である
- 提案や研究内容が明快でわかりやすい
- 発表者ならではの視点に基づいたオリジナリティがある

② 論理的思考力

- 仮説を立て検証を繰り返しながら、結論が導き出されている
- 論点への考察の深さ、多角的な視点
- 提案や研究内容の話の展開に矛盾がない

③ 情報活用力

- 参考文献やフィールドワークによる情報収集への取り組み
- 収集した情報の正確さ、分析、実証
- 具体例やデータを使用するなど論点がわかりやすく整理されている

④ プレゼンカ

- プレゼン資料(デザイン性、表現力など)の構成
- 受け手に伝わる話し方、立ち居振る舞い、時間配分
- 説得力がある

⑤ 質問対応力

- 質問に正対した回答ができています
- 簡潔に答えることができています
- 説得力がある

※上記5項目を「1~10ポイント」で審査。

「プレゼン部門」参加申込みの流れ(お申込みからご購読開始まで)

お申込み

インナー大会HPから「プレゼン部門専用申込書」をダウンロードし、必要事項を入力の上、指定のお申込みフォームよりエントリーしてください。

※この時点では
申込完了ではありません。

お支払い

参加費用はチームごとのお支払いとなります。申込み後に届きますメールに記載の支払金額を指定口座へお振込みください。

※入金確認には1週間から2週間程お時間をいただきます。入金確認をもって申込完了となります。

登録

入金確認後、申込書はインナー大会実行委員会がとりまとめ、日経BPマーケティングに送られます。申込内容は、日経BP読者サービスセンターにて、「日経ビジネス」学割購読(インナー特別価格)として登録されます。

ご送本

登録完了後、約10日以内に申込書にご記入いただいたメールアドレス宛に日経BPより購読完了メールが届きます。メール本文にある案内をご確認ください。

お申込みはこちらから

<https://www.inner-kanto.com/>

日経ビジネス電子版ご利用にあたって

「日経ビジネス電子版」のご購読には日経グループの共通ID「日経ID」が必要です。申込書にご記入いただいたメールアドレスを日経IDへ登録してください。すでにお持ちの方はそのままご利用いただけます。



2019年 中央大学大会 概要

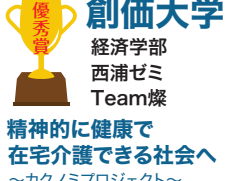
- 開催場所：中央大学 多摩キャンパス ■予選開催日：2019年10月6日(日)／本選開催日：2019年11月17日(日)
■審査項目：①着眼点 ②論理的思考力 ③情報活用力 ④プレゼン力 ⑤質問対応力 ※5項目を「1～10ポイント」で審査し、総合ポイントを算出

詳しいプレゼン内容はWebでご覧いただけます。 nbpm.jp/inner19

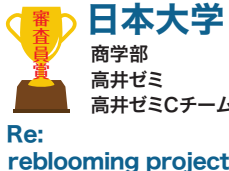
受賞チーム



立教大学
経済学部
関ゼミ
As9
献血Diary
～仲間と記すキセキの証～



創価大学
経済学部
西浦ゼミ
Team燦
精神的に健康で
在宅介護できる社会へ
～カクノミプロジェクト～



日本大学
商学部
高井ゼミ
高井ゼミCチーム
Re:
reblooming project

本選出場(予選突破)チーム



神奈川大学
経営学部
行本ゼミ
Team THINK
スマホ1台で事故ゼロへ



創価大学
経済学部
近貞ゼミ
ミラクルズ
脂質異常症改善!
～NEO健康マイレージプロジェクト～



創価大学
経営学部 安田ゼミ
OMNIBUS
技能実習制度がより
価値あるものに!
Japanativeで日本語力向上!



獨協大学
経済学部
岡部ゼミ
こくとう
インバウンド消費の
増加を乗り換えから考える



創価大学
経済学部
勘坂ゼミ
チームSSKK
自分の歯を守る
～銀歯撃退プロジェクト～



獨協大学
経済学部
岡部ゼミ
ちよ子
Bambi
～誰もが保育業界を助ける人になる～



日本大学
商学部
秋川ゼミ
チーム買い物弱者班
買い物弱者支援事業の
継続性に関わる研究



文京学院大学
経営学部 馬渡ゼミ
ドリー班
文京区の魅力を知ろう
～学生による魅力探索活動によって
区の活性化を促す～



立教大学
経済学部
関ゼミ
team2
EKoH
～いのちを救う応急キット～

大会審査を終えて



経済のグローバル化や技術革新によって世の中が変化していくスピードがますます早くなっています。これから社会に出て行く学生の方々は、これまで以上に戸惑うことが多いかも知れません。この大会は、発表テーマに社会課題の解決やビジネスモデルの提案を選ぶチームが多く、社会人として飛び立つ準備をしている学生にとって、社会を見つめ直すうえで非常に有意義であったと思います。「社会」の中にある「自分」とは何かを考える契機となったのではないのでしょうか。

株式会社日経BP 日経ビジネス編集長(2019年審査員長) 東 昌樹

審査員

■本選

[中央大学] 商学部 教授 阿部 雪子
[文京学院大学] 理事長 経営学部 教授 島田 昌和
[実践女子大学] 文学部 国文学科 オリビック・パラリンピック連携事業推進室 教授 深澤 晶久
[リンクトイン・ジャパン株式会社] アカウントエグゼクティブ 高橋 史子

■予選

[桜美林大学] リベラルアーツ学群 教授 藤田 実
[国士館大学] 経営学部 教授 水野 由香里
[駒澤大学] グローバルメディアスタディーズ学部 教授 各務 洋子
[創価大学] 経営学部 准教授 安田 賢憲
[高千穂大学] 経営学部 准教授 小林 康一
[中央大学] 経済学部 准教授 江川 章
[中央大学] 商学部 准教授 宇田川 幸大
[日本大学] 商学部 教授 川野 克典
[明星大学] 経営学部 教授 中島 洋行
[横浜国立大学] 国際商学部 准教授 藤崎 晴彦
[立教大学] 経済学部 教授 関 智一
[麗澤大学] 経済学部 教授 籠 義樹

[日本アイ・ビー・エム株式会社] グローバルビジネス・サービス事業本部 クラウド・アプリケーション・イノベーション事業部 福井 穂香
[アクセンチュア株式会社] 大竹 秀興
[アデコ株式会社] 人財事業本部 キャンパスエージェント課長 川島 香生
[LSP×Coaching] 代表 森 琢也(中小企業診断士)
[サッポロビール株式会社] 広域外食本部 フードビジネスサポート部 兼 営業本部 営業部 原田 晋次郎
[Spiral Ventures Japan LLP] パートナー 岡 洋
[株式会社株式会社ドコモ・インサイトマーケティング] マーケティング推進部 伊東 祐貴
[株式会社ナウビレッジ] 代表取締役 一般社団法人 IT人材育成協会 理事 今村 充裕
[株式会社ネットアドバンス] ビジネスセンター マネージャー 桑原 博文
[富士ゼロックス株式会社] グラフィックコミュニケーションサービス事業本部 業務部 マーケティングG CM-T 服部 勇
[株式会社みずほ銀行] 高田馬場支店 高田馬場第一部 支店長 兼 部長 高橋 優(中小企業診断士)
[三井物産エアロスペース株式会社] 業務本部 業務部 岡田 翼

※敬称略。順不同。法人名、所属、役職等は当時のものです。

プレゼン部門 予選出場チーム 125チーム (本選に進んだ12チームを除く)

大学	学部	ゼミ	チーム	研究テーマ
亜細亜大学	経営学部	サリゼミ	亜ヴェンジャーズ	発達障害の方々に革新的なサポートを!
亜細亜大学	経営学部	サリゼミ	AUC	キャッシュレス社会に向けて
亜細亜大学	経営学部	サリゼミ	Empty House	増え続ける日本の空き家と活用方法
亜細亜大学	経営学部	サリゼミ	チーム亜細亜	自動車事故の防止、減少を目的とした適性試験
亜細亜大学	国際関係学部	久野ゼミ	久野ゼミAチーム	STOPカスハラ ～悪質クレーム対策への挑戦～
亜細亜大学	国際関係学部	久野ゼミ	久野ゼミBチーム	「ガイドフル」
亜細亜大学	国際関係学部	久野ゼミ	久野ゼミCチーム	公開しようホワイト校則 ～なくそうブラック校則～
跡見学園女子大学	マネジメント学部	山澤ゼミ	山澤ゼミAチーム	決済の新時代～アプリ決済を推進しよう～
跡見学園女子大学	マネジメント学部	山澤ゼミ	山澤ゼミB	生体休暇の普及
跡見学園女子大学	マネジメント学部	山澤ゼミ	Cチーム	女性の痴漢被害
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミ	浦上ゼミチームA	もったいないを減らして ～食品ロス問題から考える今私たちにできる事とは～
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミ	浦上ゼミチーム	聖地巡礼とインバウンド
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミ	ボニーチーム	日本の教育における読書の重要性
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ	インバウンド班	ACOMO de Farm ～日本のインバウンド対策を新しい「宿泊スタイル」で～
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ	海外班	海外留学の不安解決とコミュニティ
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ	Kugues	外国人観光客への避難対策
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ	地域活性化	地域活性化 一若者の地域就職応援隊～
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ	行本ゼミ 外国人労働者班	外国人労働者
杏林大学	総合政策学部	半田ゼミ	カンカンチーム	保険料を返金できる世の中へ
杏林大学	総合政策学部	半田ゼミ	チームささばん	私とあなたの意識改革～食品ロスに私達ができること～
杏林大学	総合政策学部	半田ゼミ	ハンダバンダ	「女性の社会復帰 解決の提案」
國學院大学	経済学部	梶岸ゼミ	NSMT	伝統×世界＝和紙の魅力の再発見
国士館大学	経済学部	田中ゼミ	国士館大学 プラン	「Food Professor」訪日外国人、ヴィーガン・ベジタリアン、イスラム教徒の方でも安心して食事を楽しめる場を!
国士館大学	経済学部	田中ゼミ	国士館大学 ゼミまち振興課	若林のブランド化のために
国士館大学	経済学部	田中ゼミ	国士館大学 NEW CON PE	街の床屋で新たなビジネスを!
駒澤大学	GMS学部	各務ゼミ	KGM21	SAVE THE TOKYO
駒澤大学	GMS学部	各務ゼミ	健康チーム	学生の食事に関するPARADOX～先進国日本の食事選択～
駒澤大学	GMS学部	各務ゼミ	リチャード・セイラー	くると分別
駒澤大学	経済学部	松田ゼミ	まったり班	Ethical Education
駒澤大学	経済学部	松田ゼミ	B班	NEO BOND ～ノーション・ペン・ノーライフ～
駒澤大学	経済学部	松田ゼミ	チロル班	Revolution
西武文理大学	サービス経営学部	高瀬ゼミ	高瀬ゼミ Aチーム	介護士を増やすためには
西武文理大学	サービス経営学部	高瀬ゼミ	Bグループ	より良い街にするために ～外国人の住みやすい街づくり～
専修大学	経営学部	小川ゼミ	烏龍茶	食堂の混雑を解消し、より利用しやすい食堂にする
専修大学	経営学部	小川ゼミ	チーム福袋	福袋を売るには
専修大学	経済学部	徐ゼミ	チームC	国なき子を救え! ～待機児童問題を通して～
専修大学	経済学部	望月ゼミ	HIMラボ	中小企業のブランディング
創価大学	経営学部	安田ゼミ	Amor	Start your second life ～一歩踏み出そう～
創価大学	経済学部	西浦ゼミ	PLASS	ペットホルを削減し、環境にもお財布にも優しいエコシステムをつくる
高崎経済大学	経済学部	関根ゼミ	アセロラ	コンビニ業界が抱える問題と今後の展望
高崎経済大学	経済学部	関根ゼミ	関根ゼミ36	クラフトビール業界の成長戦略
高崎経済大学	経済学部	関根ゼミ	チームAN	動画配信サービスの展望 ～NETFLIXの国内普及を促す～
高崎経済大学	経済学部	藻利ゼミ	Aチーム	大学周辺の交通網の発達にむけて
高崎経済大学	経済学部	藻利ゼミ	Bチーム	高崎市活性化計画 「高崎バスタ」の地域ブランド化
高崎経済大学	地域政策学部	佐藤ゼミ	カーベンターズ	置き配の活用
高崎経済大学	地域政策学部	佐藤ゼミ	ドローン丸	ホビー用ドローンの可能性
高崎経済大学	地域政策学部	森ゼミ	労働チーム	中学校教諭の労働
高千穂大学	経営学部	小林ゼミ	A	ブラックバイトについて
高千穂大学	経営学部	小林ゼミ	Bチーム	インバウンド増加による、訪日外国人への荷物対策について
高千穂大学	人間科学部	迫ゼミ	公的扶助班	公的扶助について
高千穂大学	人間科学部	迫ゼミ	障碍班	障碍者の職場定着について
高千穂大学	人間科学部	迫ゼミ	労働班	長期留学の制度を活用してインターンシップ制度の長期化を実施する事
拓殖大学	商学部	佐藤ゼミ	足袋	タビオカ流行に寄与したSNSの影響力
拓殖大学	商学部	佐藤ゼミ	TINY	パン屋におけるブランディング
拓殖大学	商学部	佐藤ゼミ	ハニカムボード	ハニカムボードで守られる環境 ～SDGsに貢献せよ～
拓殖大学	商学部	佐藤ゼミ	wasaB	無名商品がブランド商品に勝つには
拓殖大学	商学部	中嶋ゼミ	TEAM AI	よい大学を目指して 一大学とインターネットとの新たな未来の可能性について
拓殖大学	商学部	中嶋ゼミ	中嶋ゼミ インターグループ3	増やせ動員! 魅せるリール!
拓殖大学	商学部	中嶋ゼミ	なかよし	どうしたら防げるの? ～事故を減らしていくための提案～
中央大学	商学部	三浦ゼミ	チームM	Enjoy cooking and life! ～孤独死を防ぐ～
中央大学	商学部	三浦ゼミ	チームF	園を越えた繋がり! ～保育業界を仲間と共に生きていく～
中央大学	商学部	三浦ゼミ	パンチェックブラザーズ	道の駅を拠点とした地域振興 ～地域ソア～から防災まで～
中央大学	経済学部	後藤ゼミ	中大後藤ゼミ 鉄道グループ	シャッター街の活用案 一京王線芦花公園を「文学の街」に

大学	学部	ゼミ	チーム	研究テーマ
東洋大学	経営学部	竹内ゼミ	いろえんぴつのくろ	学生による銭湯経営の継続支援
東洋大学	経営学部	竹内ゼミ	クレマチス	若者に献血を ～献血は人のためならず～
東洋大学	経営学部	中野ゼミ	Aチーム	新たな高齢者支援
東洋大学	経営学部	中野ゼミ	中野ゼミBチーム	アンテナショップを盛り上げよう! ～Young×Antenna～
東洋大学	経営学部	中野ゼミ	Cチーム	介護
東洋大学	経営学部	中野ゼミ	中野ゼミナルDチーム	LIFE with FLOWER
東洋大学	経営学部	中野ゼミ	Eチーム	フードを買わせたいサブスクカフェフードを買わないノマドワーカー
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ	坂道自動車同好会	訪日外国人が開く地方の扉
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ	劇団ミルフィーユ	免許返納後の高齢者の足と救済! ～Door to Doorによる交通手段の確保～
日本大学	商学部	秋川ゼミ	チーム犬助け隊	流通過程で起こる犬の死
日本大学	商学部	東ゼミ	Aチーム	1人暮らし高齢者に向けた詐欺対策の取組み
日本大学	商学部	東ゼミ	Bチーム	だれでもエナック
日本大学	商学部	東ゼミ	Cチーム	「でっち」オンライン家庭教師サービス ～地方のこどもに学習の機会を～
日本大学	商学部	東ゼミ	Dチーム	世代間交流促進のためのボランティアマッチングシステム「輝(たすき)」
日本大学	商学部	岩田ゼミ	カシオペア	ネット被害から飲食店を救え! ～IB PROJECT～
日本大学	商学部	川野ゼミ	あゐチーム	JAにおける中期計画
日本大学	商学部	川野ゼミ	おちいまりイ	JA直売所の経営改善計画 ～日本の農業を守るために～
日本大学	商学部	金ゼミ	チーム笑顔	薬で苦しむ人々へ
日本大学	商学部	金ゼミ	TeAm-D	再配達解消
日本大学	商学部	高井ゼミ	高井ゼミAチーム	廃棄するその前に…
日本大学	商学部	高井ゼミ	チームB	写真PROJECT
日本大学	商学部	高井ゼミ	高井ゼミDチーム	新しい居場所を見つけよう ～大学生と高齢者の新しいコミュニティを作ろう～
日本大学	商学部	中川ゼミ	ナムル	あなたのそばに日本食
日本大学	商学部	村井ゼミ	村井ゼミ	ベンチャー企業におけるリストラクチャードストックがもたらす影響
日本大学	経済学部	加藤ゼミ	加藤ゼミプレゼン班	男を会社から、女を家庭から解放
文京学院大学	外国語学部	渡部ゼミ	チーム渡部	食糧危機改善のために ～オキアミの力～
文京学院大学	経営学部	大野ゼミ	現金主義班	Cashless ～時代と共に生きる～
文京学院大学	経営学部	大野ゼミ	チームOHINO!	AI導入による人材不足の解消 ～運送業界におけるドローン宅配便～
文京学院大学	経営学部	新田ゼミ	A班	環境問題を考える ～大学生に対する行動改善～
文京学院大学	経営学部	新田ゼミ	Bチーム	一次救命に対して自分事にしてもらえる社会を目指して
文京学院大学	経営学部	新田ゼミ	C班	Change of my hearts ～ストレスに打ち勝つ人間になるために～
文京学院大学	経営学部	馬渡ゼミ	おでかけ班	「社会鉄道へ」 ～地域鉄道存続への新たな試み～
文京学院大学	経営学部	馬渡ゼミ	ブランディングチーム	「大岡戦争で生きた」に ～学生へのインテナルブランディングを中心に～
明治大学	経済学部	岡村ゼミ	岡村チーム	ボイ捨て防止による海洋プラの削減
明治大学	商学部	風間ゼミ	チーム不認知療	将来不妊で悩む人を減らしたい
目白大学	経営学部	伊藤ゼミ	外国人調査グループ	独自調査に基づいた外国人観光客に向けた魅力の発信
目白大学	経営学部	伊藤ゼミ	Team ABC	早期英語教育について
目白大学	経営学部	越川ゼミ	越A	高齢者に寄り添う手助け隊
目白大学	経営学部	越川ゼミ	越B	科学の力で歯医を撲滅!
目白大学	経営学部	越川ゼミ	越C	フードロス/学生限定販売 ～「もったいない」から「ありがとう」へ～
横浜国立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミ	藤崎ちゃんぽん	保育ママという選択肢
横浜国立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミ	フジサキズ	チャーター・フレンドを不登校対策&支援
横浜国立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミ	モツツアラチーム	若者が政治的関心を得るには
立正大学	経済学部	川口ゼミ	川口ゼミAチーム	キャッシュレス後進国 ～日本のキャッシュレス化～
立正大学	経済学部	川口ゼミ	Bチーム	日本の伝統工芸品
立正大学	経済学部	川口ゼミ	立正大学Cチーム	オリンピックの影 ～鉄道機関の混雑解消を目指して～
立正大学	経済学部	小林ゼミ	立正大学歴史ゼミチームA	高齢者ドライバーによる死亡事故を減らすために
立正大学	経済学部	小林ゼミ	立正大学歴史ゼミチームB	映画館へ行こう!
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	Bチーム	廃校ビジネス
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	Cチーム	不二家からみた企業が存続するために必要なこと
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	近藤ゼミSD班	無印良品とミジラー
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	「F」	だんぜん! ダイソー! の理由
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	Gチーム	離職に対する企業努力
立正大学	経営学部	近藤ゼミ	正井班	プライダ媒体最強のゼクシィをリサーチし強みを探れ!!
立正大学	経営学部	高橋ゼミ	Aチーム	世界でつくる日本酒
立正大学	経営学部	高橋ゼミ	GrobalFront	人材不足におけるダイバーシティの重要性
立正大学	経営学部	高橋ゼミ	La-tour Rishso	国内製菓業界の海外進出
流通経済大学	経済学部	長澤ゼミ	Aグループ	シールでヴィーガンメニューを広めよう
流通経済大学	経済学部	長澤ゼミ	長澤ゼミB	ムスリムの日本観光は一苦労!? ～日本料理を楽しんでもらうために～
流通経済大学	経済学部	丸岡ゼミ	丸岡ゼミ	地域の助け合いから生まれるシェアリングエコノミー
麗澤大学	経済学部	中島ゼミ	パークなカジー	日本のキャッシュレス化を進めるために ～日本版swishの提案～
麗澤大学	経済学部	中島ゼミ	NICO	クラウドファンディング(CF)を身近に! 簡単に!

※五十音順(大学名)